

鶏舎の飼養管理に太陽光発電の電気を活用

<概要>

- ・事業実施主体：株式会社青森ポーター
- ・発電設備：太陽光発電
- ・発電出力：①八木農場150kW（自家利用）
②階上ソーラーファーム 1,500kW（売電）
③洋野ソーラーファーム 1,500kW（売電）
- ・建設費：①1.15億円、②5.1億円、③6.7億円
- ・運転開始時期：①平成23年3月、②平成25年2月、
③平成25年8月

<特徴>

- ・固定価格買取制度開始前から太陽光発電に取り組む。発電した電気は養鶏場で自家利用し、全電力消費量の20%程度を賄う。
- ・固定価格買取制度開始以降は、発電所を増設し、養鶏事業の経営安定化のため、自家利用に加えて売電を開始。
- ・売電収益は経営安定化に資するとともに、養鶏施設の保全修理にも活用。また、地域貢献として、発電用地の地代の支払いや草刈りのための雇用を実施。
- ・鶏糞の有効活用のため、小規模の鶏糞バイオマス発電の実施に向けて、情報収集中。



八木農場の太陽光発電設備
（自家利用）



八木農場の鶏舎内の様子
（自家利用）

※太陽光エネルギー利用推進事業（H22）、農山漁村再生可能エネルギー供給モデル早期確立事業（H24）において支援